

冠動脈バイパス術 を受ける患者様へ

患者様用

患者氏名： _____ 様

受持医： _____

受持看護師： _____

日時経過	入院	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後CCU)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目～	術後9日目～	術後12日目	術後14日目
達成目標	◆必要な検査が終了する ◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意している			◆循環動態が安定している (収縮期血圧が80-130mmHg) ◆ドレーンよりの排液が80mL/8時間以内である ◆痛みがコントロールできる ◆覚醒し麻痺がない 24時間持続した点滴があります		◆循環動態が安定している (収縮期血圧が80-130mmHg) ◆ドレーンよりの排液が100mL/日以下である ◆創の発赤・腫脹がない ◆トイレ・洗面所まで歩行できる		◆院内歩行ができる ◆食事療法について理解できる ◆生活指導について理解できる		【退院基準】 ◆創の発赤・腫脹がない ◆白血球の増加がない ◆院内歩行ができる ◆退院後の生活が正しく理解できる	
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置 リハビリ	胸・腹・太もも・腕の除毛を行います 寝る前に睡眠薬と下剤があります		手術前に筋肉注射・点滴をします 手術前に手術する場所に印をつけます	術後、人工呼吸器をつけます 人工呼吸器をつけている間、話をすることができません 薬を使用し眠った状態にします 体に大切な管が入ってます	人工呼吸器を外します 酸素マスクを使用します 胸の傷の部分には、広めの絆創膏を貼り、消毒はしません 透明の絆創膏の上から傷の状態を観察します 痛みがあるときには痛み止めを使用できます 目覚めた後は管が抜けないように看護師の介助のもとで動きます	心臓の周りに入っていた管からの廃液が少なくなったら管を抜きます		7日以降に抜糸があります 絆創膏を外します			
検査	外来でエックス線や心電図などの検査を行なったか確認を行います			血液検査があります 心電図のモニターをつけます	毎日、血液検査・エックス線の撮影があります	毎日昼食前に体重測定をします		心エコー・心電図・肺機能・胸部CTの検査があります	心臓カテーテル検査が必要であれば、受持医師から説明し計画をします		
活動・安静度	制限ありません			ベッド上安静です	ベッド上で座ることができます	ベッドの横に立てます	トイレ、洗面所、病棟内へと徐々に歩行できます		院内を歩行できます		
食事	治療食になります	食事は夕食まで、水分は22時までです	朝からは水分も食事もとれません 	意識がはっきりしてきたら昼から食事が始まります。 お粥から始まり、少しずつ硬いご飯になります							
清潔	入浴できます	除毛後に入浴して下さい	顔のひげそりをして下さい 義歯・指輪・ヘアピンをはずして下さい	看護師が身体を拭きます 		上半身は体を看護師が拭きます 下半身は看護師が付き添いシャワーができます		受持医師が傷の状態を見て状態がよければシャワーができます 			
排泄				手術室で尿の管を入れます		尿管が抜いた後は尿器を使用します トイレまで車椅子で行き、徐々に歩行できるようになります					
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	受持医師が入院治療計画と手術について説明いたします 看護師が入院生活の説明をいたします 麻酔医が診察いたします CCU看護師が訪問いたします 薬剤師が薬についての説明をします 手術に必要なバスタオル2枚とタオル3~4枚、テッシュ1箱、バスタバンド1枚、らくのみ1個を準備して下さい			受持医師が手術の結果について家族に説明します 手術後はCCU(集中治療室)に入ります		CCUから一般病棟に移ります 受持医師が手術後の経過について再度、説明をします		管理栄養士が食事について説明いたします 看護師が退院後の生活について説明いたします 危険因子について説明します	再発防止について説明します	し好品について説明します 日常生活について説明します	薬剤師が薬についての説明をします 入院後、家族の方から更生医療申請と身体障害者の診断書を市町村役場に提出してもらいます。 2~3ヶ月後に入院費の請求があります (所得に応じて金額は異なり3~15万程度です)

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります
注2 入院期間については現時点で予想される期間です